21065	社会福祉援助技術現場実習指導 a 、 b Guidance to Field Practice of Social Wel fare Aid Skills					3年次~ 通年 4単位
担当者	鴨志田 美幸/山中 俊克		履修可能学科		W	
		関連	資材	各	教職・社福士必 (W)	
サブタイトル	ソーシャルワーク実習					
授業内容 ・ ねらい	この授業では、夏朋保業中に行われる社会福祉援助技術現場実習に向けて、専門職実習としての心構えの形成や実習のために必要な準備を行う。実習後は、報告会、報告書の作成を通し、社会福祉援助技術という。 組祉援助技術規場実習を報り返る。 (授業の目的・ねらい) 1. ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 2. ソーシャルワーク実習の意義について理解する。 3. ソーシャルワーク実習を振り返り、専門的援助技術としての概念化・理論化して、系統立てていくことができるような能力を身につける。 (授業全体の内容の概要) 1. 事前指導 2. 実習 3. 事役指導 (履修上の注意) *社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術名論 I・II、社会福祉援助技術流習 I・II、人間福祉実習・同指導が単位修得済みであること。同時履修の社会福祉援助技術演習田の単位を取得すること。 *社会福祉概論、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術名論 I・II、社会福祉援助技術演習 I・II、人間福祉実習・同指導が単位修得済みであること。同時履修の社会福祉援助技術演習田の単位を取得すること。 *社会福祉援助技術演習 Iの単位を修得できない場合、受講の継続はできない。 *社会福祉援助技術演習 Iの単位を修得できない場合、受講の継続はできない。 *公的扶助論、社会保障論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論が単位修得済み、もしくは履修中であること。実習希望領域については、領域論が単位修得済みであることを原則とする。					
授業計画	1. ソーシャルワーク実習の意義について 2. 実習演読の現場理解 3. ソーシャルワークに係る知識と技術の理解 4. 外部講師保習性の担当職員による講義のまとめ 5. 現場体験学習及び見学学者による体験報任 6. 実習における個人のブライバシーの保護と守権義務の理解 7. 現場実習を修了した企学生による体験報任 8. 「実習の記録」への記録内容・記録方法に関する理解② 9. 「実習の記録」への記録内容・記録方法に関する理解② 9. 「実習の記録」への記録内容・記録方法に関する理解② 9. 「実習の記録」への記録内容・記録方法に関する理解② 9. 「実習の記録」への記録内容・記録方法に関する理解② 9. 「実習の記録」の記録内容・記録方法に関する理解② 10. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習計画書」の作成③ 11. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習計画書」の作成② 12. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習計画書」の作成③ 13. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習計画書」の作成③ 14. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習計画書」の作成③ 24. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習計画書」の作成③ 25. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習情画書」の作成③ 26. 「実習性と実別担当教員との面接を含めた「実習情画書」の作成③ 27. 「実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習情画書」の作成③ 28. 実習生と実習担当教員との面接を含めた「実習報告書」の作成③ 29. 実習生と言報告会しに向けたケルーブ活動を含む実習担当教員による指導② を踏まえた「実習計画書」の作成④ 29. 「実習報告会」に向けたケルーブ活動を含む実習担当教員による指導③ 29. 「実習報告会」に向けたゲルーブ活動を含む実習担当教員による指導③ 29. 「実習報告会」に向けたゲルーブ活動を含む実習担当教員による指導③ 29. 「実習報告会」に向けたゲルーブ活動を含む実習担当教員による指導③ 29. 「実習報告会」に向けたゲルーブ活動を含む実習担当教員による指導③ 29. 「実習報告会」に向けたゲルーブ活動を含む実習担当教員による指導③					
教科書 参考書	人間福祉実習指導、社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのファイルを使う場合がある。					
	課題ごとのワークシート、レポートの評価を、統一の評価軸を使い各担当教員ごとに行う。 各課題、授業の出席、参加態度などを総合的評価を行う。					
事前準備学習 履 修 条 件 等	〔授業内容・ねらい〕参照のこと					